土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	一級河川小瀬川水系　小瀬川支川6通常砂防事業に伴う測量設計業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　ダム・溜池

ボーリング名	No.1	調査位置	広島県大竹市木野二丁目			北緯	34° 13’ 09.8954″
発注機関	広島県西部建設事務所　廿日市支所			調査期間	令和5年 2月13日～ 令和5年 2月14日	東経	132° 12’ 08.2798″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP 22.24m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	52° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機　D1-B50型
総削孔長	7.00m								エンジン：ヤンマー　NF 110型　ポンプ：東邦地下工機　BG-3B型

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度—N値図	N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
1									表土及び土石流堆積物 角礫や玉石を多く含む 礫径はφ10mm～30mm主体 玉石は、コア長10cm前後を含む 基質は、粘土質砂	2/14 無し	0 10 20 30 40 50 60		1.15	2	2	3	7/300							
2												7	1.45											
3													2.15	9	3	3	15/300							
4	18.04	4.20		砂礫		暗灰	rd2					15	2.45											
				風化泥岩					泥岩の風化岩 性状は、礫混じり土砂状～礫状に風化する 深度4.4m～4.6m間は破砕され礫混じり土砂状となる 深度4.9m付近は風化が進行して褐色に変質する 岩級DHクラスの軟岩Ⅰクラス				3.15	4	4	6	14/300							
5	17.34	4.90				黒灰						14	3.45											
6				泥岩		黒灰							4.15	14	36		50/200	200						2/13
									泥岩の風化岩 短柱状コアとして採取されるが亀裂に沿って風化し粘土を狭在する 深度5.3m～5.5mは、高角度の割れ目に沿って風化し、褐色に変質している 深度5.85m～5.9m、深度6.0m～6.1mは、礫状に風化する 最大コア長は、20cm 岩級区分はCMクラスの軟岩Ⅱ			50以上	4.35											
7	15.24	7.00										50以上	5.00	貫入不能			50/0	0						2/14
8																								
9																								
10																								
11																								
12																								